

漫画家 清水崑



長崎市出身のマンガ家清水崑（本名清水幸雄/1912～1974）は、戦前から戦後にかけて活躍した。後に、日本漫画協会へと繋がる漫画集団及び前身の新漫画派集団に所属し、政治漫画、似顔絵、子ども漫画、取材漫画、似顔絵、本の装丁、舞台美術など幅広い活動を行う。特に清水の代名詞となる一連の「かっぱ漫画」は従来のかっぱ像を塗り替えたと言われ、大人向けナンセンス漫画の『かっぱ天国』は大ヒットし社会現象にもなっている。

代表作として、『かっぱ天国』『かっぱ川太郎』一連の政治漫画、取材漫画が挙げられる。

和暦	出来事
大正元年	長崎市銭座町（今の天神町）に生まれる。
大正13年	長崎市立商業学校（現在の長崎商業高校）入学
昭和6年	長崎から上京。
昭和8年頃	文藝春秋社の「オール読物」などに挿絵、カットを執筆
昭和8年	新漫画派集団に参加
昭和10年	雑誌『新青年』に漫画「東京千一夜物語」を連載。のちに内田叶夢監督により映画化される。
昭和21年	文芸評論家小林秀雄、小説家永井龍男などが創刊した新聞『新夕刊』で政治漫画を描く。
昭和22年	朝日新聞の嘱託漫画家となる。
昭和26年	『小学生朝日新聞』創刊に際して、『かっぱ川太郎』の連載を開始。かっぱを主人公としたのは芥川賞作家で友人であった火野葦平の影響による。サンフランシスコ講和条約へ派遣。
昭和28年	『かっぱ天国』連載。大ヒットし社会現象となる。（～32年連載）
昭和29年	連続テレビ漫画『かっぱ川太郎』がNHKで放映。全861回（～31年放映）
昭和29年	アニメ映画『かっぱ川太郎』公開
昭和30年	黄桜酒造のキャラクターとして清水のかっぱが採用される。 カルビー「かっぱあられ」など菓子広告を手掛ける。「かっぱあられ」は「かっぱえびせん」として現在も名前を留めている。
昭和31年	豊田洋（現在の落語家林家木久扇）が書生となる。落語の才能を見出し、昭和35年落語家桂三木助に紹介する。
昭和46年10月	荏柄天神社に「かっぱ筆塚」を建立。除幕式には小林秀雄、永井龍男など賛同者80人が参列した。碑文は友人の川端康成が揮毫
昭和46年10月	長崎のタナカヤにて「長崎のくんちを遊ぶかっぱ展」開催
昭和47年5月	長崎のタナカヤにて「長崎の春秋を遊ぶかっぱ展」開催
昭和47年10月	長崎のNBCアートギャラリーにて「長崎の行事を遊ぶかっぱ展」を開催
昭和49年3月	死去
昭和49年10月	デザインを担当した東濱町竜宮船が初奉納される。
平成4年	長崎大水害を思ひ中島川公園内に「ぼんたくん」の銅像が建立
平成13年	清水崑展示館開館 銭座小学校のカッパの壁画「なかよし」設置